年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：２０２２年　４月１５日
● 事　業　名　：ＩＣＴ学習支援官民協働事業
● 資金分配団体　：　公益財団法人　長野県みらい基金
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人ＩＴサポート銀のかささぎ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1『ＩＣＴちくま未来教室』が不登校の子どもの居場所として開設される。	①『ＩＣＴちくま未来教室』のパンフレットの作成・配布。	初期値からの向上	2021 年 7 月	①　パンフレット作成・配布終了	2
	②学習困難を抱えた子どもの来訪者数			来訪者の数 2020　年 度　245　名 2021 年度 4 月～3 月 349 名 不登校支援　2020 年度	

				28名　2021年度4月～8月　45名) ※令和 3 年 7 月現在千曲市内小学校不登校者数 16 名、中学校不登校者数　38名	
	③千曲市・教育委員会・児童養護施設・地域住民への周知。	初期値からの向上	2021 年 7 月	③チラシの小中学校へ配布、ホームページ、ちくま未来新聞への掲載、教育委員会へチラシ配布	2
2『ＩＣＴちくま未来教室』で千曲市地域を構成する住民、屋代商店街や企業、千曲市教育委員会など様々な資源とつながる。	① 定例会を 2 か月に 1 度行う（オンラインでも可）	初期値からの向上	2021 年 4 月	毎月 1 回開催	2
3　子どもたちの経験の積み木や思考の地平線を広げるため、豊富な学習コンテンツを用意する。	①学習コンテンツの試行錯誤	5 ツール	2021 年 4 月	microBit、クムクム、m1, などプログラミング教材 8 ツール、幼児用プログラミング教材、iPad 小中教育アプリ Microsoft　office 教材 タブレット学習オンラ	2

				イン学習用機材、ICT ラボを設立して、最先端の技術を研究	
	② プログラミング講座を毎月開催	初期値の向上	2020 年 10 月	2020 年 10 月より月 2 回プログラミング学習とタブレット学習を行っている。コロナで休講の際はオンラインを使う。夏休みは 2 週間夏期講習を行った。	2
	③ 参加者へのアンケートの実施		2020 年 10 月	参加者アンケートの集計	2
4 ちくま未来戦略研究機構と協働でＩＴ講習や講演会を開く。	①ＩＴ講習、講演会の毎月開催	毎月開催 ２０名	2020 年 9 月	講演会（市長など有識者の講演）とＩＴ講習（市民向けスマホ教室・ホームページ教室、SNS 教室）を各 1 回行っている	2
	② 参加者を対象とした満足度・アンケート調査を行う		2020 年 9 月	子ども、シニアとも少人数、対面学習で満足度は高い	2
5 「ＩＣＴちくま未来教室」でひきこもりの若者や仕事をした	① ＩＴ講習を毎月開催	毎月開催 5 名	2021 年 9 月	さんぼんやなぎにっこりひろば、松代福祉寮	3

いが就職できない若者向けの就労支援の講座を開く。				へアウトリーチをしながら、千曲市子ども未来課･千曲商工会議所･児童養護施設と連携し、引きこもりがちな若者への就労支援のためのIT講座をおこなう予定である。	
	② 参加者を対象とした満足度・アンケート調査を行う		2021 年 9 月		2
6　ちくま未来ＩＣＴ教育サイトを作り、情報を発信する。	①他地域の問い合わせによる新たな連携	連携団体 6 団体	2021 年 7 月	NPO 法人子どもたちの未来を応援するオアシス丸亀　・(特非) 子ども・若者サポートはみんぐ・(一社) ぷれジョブ長野支部・反貧困セーフティネット・アルプス・さんぼんやなぎにっこりひろば、松代福祉寮と連携し、オンライン学習を使ってコロナで対面学習ができ	1

				ない子どもたちへの学習支援を行う。	
	③　賛助会員の増加	7 社増加	7 社増加	ポータルサイトのからの問い合わせが増え、賛助会員が 7 社増加した。賛助会員ではないが、東京の IT コンサルティング会社がプロボノ活動として、かささぎのコンサルティングを 3 か月に渡り 7 名で行っていただいており、今年度も継続して行っていただくことが決まった。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告
コロナウイルス感染拡大のため、ちくま未来教室の立ち上げが遅れてしまったが、今年度は順調に教室を開催することができた。特に、夏季に集中的に行ったちくま未来教室では、毎日子どもたちが教室を訪れ、家では手に取れないロボットやマイコン、microBit に触れて、プログラミングを自学自習で行う姿が見られた。シニアの講座も好評で、スマホやタブレットのトラブル解決など悩み相談を多く受けた。特に、コロナ禍で居場所がなくなったお年寄りがちくま未来教室を新しい居場所として受け入れていただいている。 一方で、不登校やひきこもりの子どもたちへのアウトリーチであるが、松代福祉寮やにっこりひろば、千曲市の中間教室でのアウトリーチを行っている。オンライン学習で個々の対応がよい子どもはオンラインで、対面でコミュニケーションを取ったほうがよい子どもは対面学習で学習支援を行っている。 ・引きこもりの若者への支援であるが、千曲商工会議所や千曲市こども未来課と連携して、就労支援のための講習を行う予定である。 ・GIGA スクールの関係で飯縄町の教育委員会より要請があり、子ども一人一台の iPad の活用のサポーターとして、児童会やオンライン学習の学習支援をしている。この支援活動は想定外であり、今後も要請があれば、他地域でも行っていきたいと考えている。 出口戦略 【レンタルシステムの導入】 休眠預金の助成金により、多くの情報機器がかささぎにあるので、ちくま未来教室に展示し自由に触れ合ったり、無料で（カード発行手数料あり）貸し出すことを考えている。備品側にチップをいれて、フェリカを導入し、カードで管理する方法で、今まで科学に触れあえなかった子どもたちに情報科学の楽しさを伝えていきたい。日進月歩する情報機器に触れられる機会がすくない子どもたちへレンタルすることは、お金がかかりそうでためらっていた経済的に困難な子どもたちや引きこもりがちの子どもへの学習のチャンスになると思われる。 ・ふるさと納税の活用 レンタルシステムはカードとチップを使ったものを開発しているが、ふるさと納税をしていただいた方にお礼としてレンタルに利用できる銀のかささぎカードを返礼したい。 【委託業務受注拡大による事業収益の改善】

今までかささぎの収益は主に助成金と寄附金で成り立っていたが、休眠預金事業を行ってきたことにより、組織の基盤整備が整えられたり、ホームページや SNS,報道などもあって、オンライン学習の方法についての問い合わせやタブレット学習支援についての問い合わせが増えてきた。結果、キッセイコムテックからの飯綱町での ICT 学習支援事業の受託や長野市の生活困窮者学習支援事業の受託、児童養護施設松代福祉寮の保守管理の受託など、事業収益が増えてきている。今年度も行政および民間企業への働きかけを行い、銀のかささぎの事業内容を活かす形での委託業務の受注につなげていきたいと考えている。

【外部の第三者視点を取り入れた現状分析/市場調査】

株式会社 Dirbato より、プロボノ活動でのコンサルティングの支援（メンバー6 名）を受けており、現状分析/市場調査、関係者の相関図を整理、事業類似した NPO 法人についても調査を行っていただいた。ブランディング強化、ファイナンシング強化のための 6W1H 分析を行い、毎週 1 回 1 時間のミーティング（Teams'を使いファイル共有、スケジュール管理、チャット機能あり）で、かささぎの強みや弱みを見つけ、少ない人数でも多くの成果を得るために、どのような方策があるか検討していただいている。3 月末には、実行計画書、短中期実行スケジュール、TO DO リストの作成していただき、実行している。22 年度も、継続してコンサルティングしていただくことになり、新しいメンバーで 5 月にキックオフを行うことが決まった。

【千曲市との連携】

ちくま未来教室のある場所は、屋代商店街のまちづくりの中心地であり、市民の居場所としての機能がある。そこで、今年度は、他団体と協力して、千曲市まちづくりチャレンジ事業を行う予定である。不登校の子どもたちへの学習支援だけでなく、まちづくりの観点からも千曲市と連携を深めていきたい。

【事務所・ＩＴ図書館開設】

ちくま未来教室は一般社団法人ちくま未来戦略研究機構と協働で運営しており、一定の成果をあげてきてはいるが、かささぎ単独での事務所を開設し、誰もが IoT の恩恵を受けることができる IT 図書館のような施設を作ることを目指していきたい。世界の情報はインターネットを通じてパソコンやスマホの情報は得られるようになったが、果たしてその情報をうまく使えている人は何人いるだろうか。実際、情報機器に触れたり、触ったり、話し合ったりすることで、わかったり、感じられたりすることがある。機器のレンタルを行い、その通信機器を使って作品作りをし、コンテストに応募したり、展示したりする科学の居場所づくりをすることで、その結果、経済的に困難を抱えた子どもたちや引きこもりぎみの子どもでも参加しやすい仕組みづくりを行うことは、格差是正につながる。そして、その行動が 10 年後 20 年

後の未来を変えることになり、ＡｉやIoTの恩恵を受けるまちづくりにつながっていくと考えている。そのためにも、ここ長野（千曲市）にIT図書館モデルを作って、全国に発信していきたい。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
コロナの感染拡大で教室を休む場合、オンライン学習を行っていたが、回線が不安定な場合があったり、サービスにログインできなかったりとトラブルがある。そのため、アウトリーチを行っている施設には、あらかじめ教材アプリの入っている iPad を貸し出し、プログラミング学習は、microBit を貸し出して、youtube に学習内容をアップして行うようにした。また、毎月行っている会議は、オンラインで行った。コロナ禍であるので、オンライン会議はおおむね好評であった。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） 月刊誌　モナミ　長野放送　ちくま未来新聞 2.広報制作物等 パンフレット　休眠預金事業「ICTを使用した学習支援」　パンフレット　「ICTラボ　入会案内」 ポータルサイト　ちくま未来教室の制作 Youtubeちゃんねる「かささぎちゃんねる」運営 3.報告書等 なし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 3/8　ちくま未来戦略研究機構と協働で「屋代駅前活性化とICTの役割」について開催

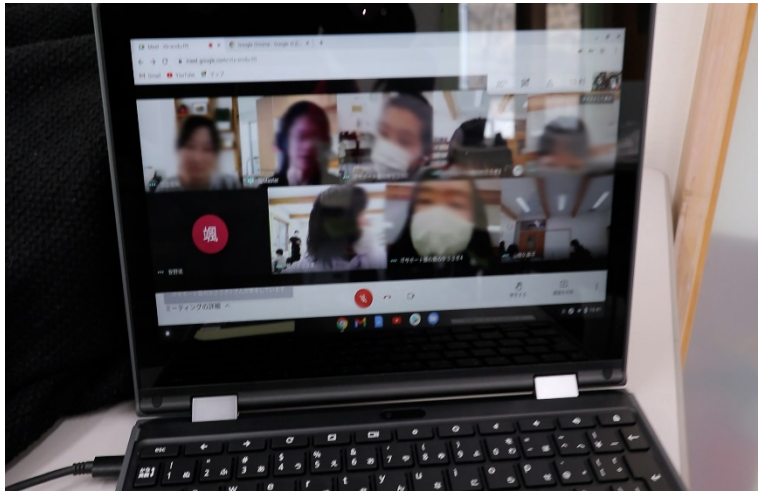
④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）